

人間科学科について知りたい方のための



フリーペーパー『らいふみる』

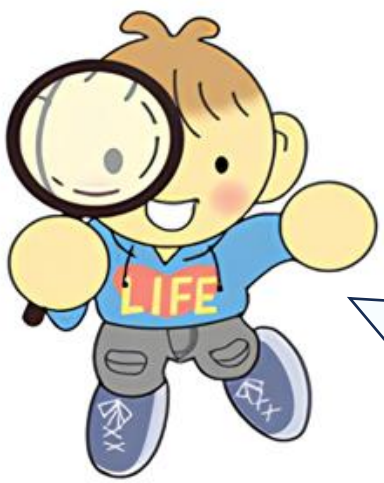


2026年版 第3号

こんにちは！らいふみるです。梅雨のジメジメした日が続きますが、人間科学科の学生たちは、毎日真面目に勉強に励み、部活・サークルやアルバイトにも一生懸命取り組んでいるようです。春学期の第2クォーター(6月11日から7月29日まで)は祝日も少なく、ここから夏休みまで一気に駆け抜けていくことになります。

さて今回は、人間科学科での学びに欠かせない各種の実験・演習のための施設や設備についてご紹介します。人間科学科専用のフロアは、人間科学科の学生たちが日常的に利用し、学びの「拠点」ともいえる場所です。どのような特色があるのか、らいふみるくんと一緒に散策してみましょう！

【人間科学科専用の施設・設備の紹介】



学科キャラクター らいふみるくん

人間科学科のさまざまな実験室や学科事務室は、大学の正門を入ってすぐ左側の**2号館4階・5階**にあります！

人間科学科の1年生から4年生までが、日々の授業や演習、実験や卒業論文の執筆などで日常的に利用しています。また、人間科学科の先生の研究室もあります。**5階のエレベーターを降りると、正面にらいふみるくんの大きなポスターがありますよ♪**

【人間科学科事務室】 2号館4階

人間科学科のすべての学生が4年間を通じて頻繁に利用するのが人間科学科事務室です。事務室には経験豊富な助手が勤務しており、4年間の学生生活全般をサポートします。事務室には、授業の合間などに教員が在室していることもあり、日々学科の教職員と学生で賑わっています。学生生活で困ったことがあったら、学科事務室にぜひご相談ください。



【心理学実験室】 2号館4階

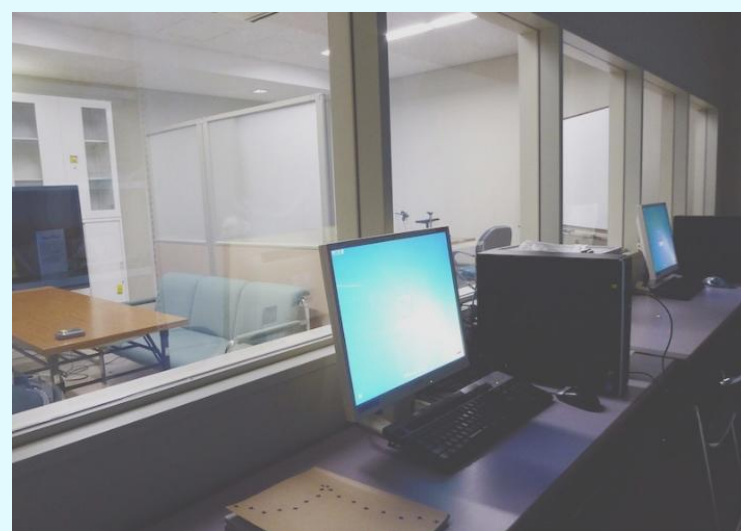


人間科学科では、大小さまざまな規模の心理学実験室と、それぞれの用途に見合った機材を備えており、多様な心理実験に対応しています。単に知識を身につけるだけでなく、新たな知識を自ら生み出すための一連のプロセスを実践するために欠かせない設備です。おもに心理学の教員が担当する3年次のゼミ(人間科学専門演習I・II)や4年次の卒業論文で活用されています。

3年次では、基礎的な実験を実施したり、グループで問題を設定して実験・調査を進めていますが、4年次の卒業論文では、学生ひとりひとりが個別の問題に取り組めます。はじめは素朴で粗削りな疑問であっても、身近な先輩の研究や国内外の研究をヒントにし、また実際に予備実験をしながら、仮説や方法を洗練させていきます。最近では、オンラインでの調査や実験も工夫しながら実施しています。

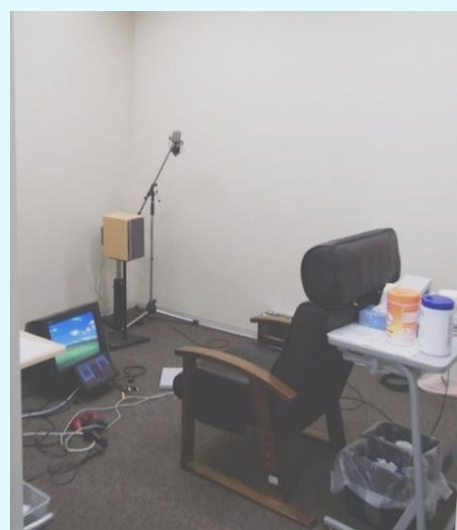
【制御室からみた集団実験室】

広いスペースを生かした行動観察や、微細な表情の変化もとらえる表情筋計測のための機材がセットアップされています。大きな窓はマジックミラーです。大型ディスプレイによる刺激呈示も可能です。実験を実施していないときには、ちょっとしたミーティングや、個々のデータ解析ができるスペースとしても活用されています。



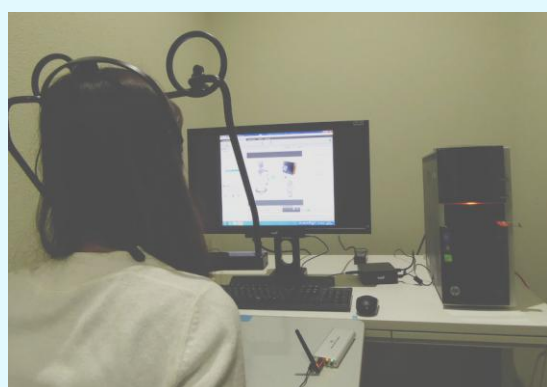
【感覚システム室】

微弱な信号である脳波の計測に対応した実験室。高精度の刺激呈示装置も備わっています。防音構造となっており、実験中は、内部との会話のために通話装置を使います。



【認知実験室】

個別ブースが4部屋整備されており、それぞれに実験用コンピュータが備わっています。周囲の騒音等に左右されない状況で刺激を呈示し、反応時間や評定データの取得などが可能です。眼球運動の計測機材や、連続したデータを取得するためのジョイスティックなどを加えて実験を実施することもあります。



【身体科学実験室】 2号館5階



身体科学実験室は、主に2年次の実験基礎演習や3年次の専門演習などの授業のほか、卒業論文の実験でも使用する施設です。実験室には持久性能力や運動ストレスの影響に用いる固定式自転車、筋力や神経系に関する運動能力を評価する測定機器やトレーニング器具、自律神経系活動を評価する機器、身体組成計などを設置しています。また睡眠時の動きや身体活動量を測定する活動量計や運動中の心拍数を測定する心拍計、そのデータを解析するためのコンピュータなども複数準備しています。授業では実験や測定を行いながら測定機器の使い方を学び、卒論ではそれぞれの興味関心によって設定したテーマで研究を行っています。

【身体科学実験室の測定機器】

右上は固定式自転車を使った運動負荷試験の様子です。ペダリングの負荷や時間を事前に設定してプログラムを実施します。またペダリング運動中の心拍数の状況は胸部に装着したセンサーからPCに転送してモニタリングすると同時に専用のプログラムで測定データを解析することができます。



右下は自律神経系活動評価システムです(机上の白い機器)。指先にクリップ状のセンサーを装着して末梢血管の状態を赤外線によって確認することで心拍変動を評価します。心拍データを専用のプログラムで解析して自律神経の活動状態、交感神経系・副交感神経系の活性、ストレス状態について評価します。



【社会調査実習室】 2号館5階



社会調査実習室は、中央にテーブルとイスを配置しており、社会調査演習をはじめ、ゼミや演習系の授業で利用されています。また、壁面に18台のPCが並んでおり、プロジェクタやスクリーン、プリンターなどもそろっていることから、PCで作成した各種のファイルをスクリーンに映し出したり紙に印刷したりしながら、授業を進めることができます。



人間科学科の施設・設備はとても充実していますね！



【そのほかの主要な施設】 2号館4階

【人間科学科PCルーム】

PCルームには、20台のPCとともにプロジェクタやスクリーン、プリンターなどの機器がそろっています。そのため、授業の中で個別のPCを用いて各自でデータの解析やプログラミングを行ったり、プロジェクタやスクリーンを用いてグループで調べたことをプレゼンテーションしたりするために活用されています。また、授業で利用している時間帯以外は所定の手続きを取れば学生が自由にPCルームを利用することができます。そのため、各種情報の検索、調査・実験データの分析、図表やグラフの作成、プレゼンテーション資料の作成、レポートや論文の執筆など、さまざまな課題に取り組むために活用されています。



【人間科学科資料室】

人間科学科での学修や研究を充実させるために必要となる心理学・社会学・身体科学およびその周辺分野の各種資料(学術図書・学術雑誌・報告書など)が所蔵されています。とくに、学科の学びにかかわる学術図書や学術雑誌は、各分野の古典的なものから最近刊行されたものまで幅広く取り揃えられています。これらの所蔵資料は、開室時間内であれば資料室内で閲覧することができますが、所定の手続きを取れば学生も一定期間借りることができます。また、資料室内には閲覧席があり、学生が資料の閲覧や自習のために利用することができるほか、教職員に相談をしたり指導を受けたりするためにも利用されています。



2026年度 オープンキャンパス 人間科学科 模擬授業(予定)

| | |
|----------|---|
| 3月21日(土) | 心理学: 長谷川先生 ※終了しました! |
| 5月31日(日) | 心理学: 荒生先生 ※終了しました! |
| 6月28日(日) | 心理学: 谷田先生 社会学: 荒川先生 本日のオープンキャンパス の模擬授業はこちら!! |
| 7月26日(日) | 身体科学×社会学 :内田英二先生、澤口先生 心理学: 荒生先生 |
| 8月22日(土) | 心理学×社会学 :井関先生、木村先生 社会学: 池田先生 |
| 9月12日(土) | 身体科学: 内田雄先生 社会学: 畑山先生 |

【編集後記】

- ◆ 『らいふみる』2026年版第3号(2026年6月28日発行)をご覧いただき、ありがとうございました。今回は人間科学科の施設や設備についてご紹介しました。次号は、人間科学科の専門演習と卒業論文についてご紹介する予定です。どうぞご期待ください。次号以降もよろしくお願いいたします。
- ◆ 『らいふみる』は大正大学人間学部人間科学科について知りたい方のためのフリーペーパーです。本冊子の記事や写真などを無断で複製・転載しないようお願いいたします。
- ◆ 人間科学科ブログ: https://www.tais.ac.jp/faculty/department/human_sciences/blog/

